



# 東鍼会報

2014. 11 NO. 267 TŌSHIN KAIHŌ

発行  
公益社団法人  
東京都鍼灸師会  
☎ 03-3985-7501  
FAX.03-3985-7526  
www.harikyu-tokyo.or.jp

## 事業日程表 〈Nは日鍼会の略〉

### 11月

5	水	筋力アップ教室④ イキイキ教室③ 新入会員説明会	19	水	筋力アップ教室⑥ イキイキ教室④
6	木	(レセプト締切) 保険取扱疾患講習会	20	木	[綾瀬教室②]
9	日	[N理事会]	23	日	(勤労感謝の日) 共催学術講習会
12	水	筋力アップ教室⑤ 理事会	26	水	イキイキ教室B④ おおつかサロン
13	木	[綾瀬教室①]	27	木	[綾瀬教室③] 症例検討会
15	土	保険予備審査	30	日	[N師会長会議]
16	日	保険審査会 鍼灸スポーツフォーラム (長野)			

(11/2・3 渋谷支部「渋谷フェスティバル」11/8 三多摩東支部「市民まつり」11/16 北支部「健康フェスティバル」)  
(11月 三多摩西支部「羽村市民まつり・瑞穂町産業祭」)

### 12月

3	水	筋力アップ教室⑦ イキイキ教室A⑤ 新入会員説明会	13	土	保険予備審査
4	木	(レセプト締切) 保険取扱疾患講習会	14	日	保険審査会
6	土	療養費取扱者講習会 (後期)	17	水	筋力アップ教室⑨ イキイキ教室A⑥
7	日	ふくしま健康まつり 鍼灸学会 TOKYO研修会	21	日	理事会・予算会議
10	水	筋力アップ教室⑧ イキイキ教室B⑤	24	水	イキイキ教室B⑥ おおつかサロン
11	木	[綾瀬教室④]	25	木	[綾瀬教室⑤]

(12/7 新宿支部 研究会)

### 1月

7	水	(レセプト締切) イキイキ教室A⑦ 新入会員説明会 理事会	18	日	保険審査会
8	木	[綾瀬教室⑥] 保険取扱疾患講習会	21	水	筋力アップ教室⑪ イキイキ教室A⑧
10	土	新年会	22	木	[綾瀬教室⑦] 症例検討会
14	水	筋力アップ教室⑩ イキイキ教室B⑦ 新入会員説明会	25	日	新宿ハーフマラソン [N理事会]
17	土	保険予備審査	28	水	筋力アップ教室⑫ イキイキ教室B⑧ おおつかサロン

支部活動の掲載について――「支部活動の日時」本部が把握している範囲で掲載しています。早めのご連絡をお願いいたします。  
事業日程表への掲載は、事務局までご連絡ください。(開始時間についてはご確認ください。)

# 新入会員のご紹介・会員登録変更事項

会員事業部（平成26年9月10日現在）

## 【新入会員の紹介】

氏名	住所	電話番号	ランク	支部
小池 和海	〒106-0045 港区麻布十番1-4-8 麻布永坂ビル301 「たお鍼灸整体院」	080-5098-8249	A	港



小池 和海

## 【新卒会員の紹介】

氏名	住所	電話番号	ランク	所属
山形 愛知	〒151-0061 渋谷区初台2-14-8 サンプル初台202	03-3379-0039	—	会員事業部
澤田のどか	〒104-0061 中央区銀座8-19-2 銀座ハウス501	03-3684-3246	—	会員事業部



山形 愛知



澤田のどか

## 【住所その他の変更】

氏名	変更内容	電話番号	支部
関口 直喜	(施術所、電話) 江戸川区船堀4-9-23-110	03-3477-7551	江戸川
野村森太郎	(新卒会員・住所) 豊島区巢鴨5-27-13 Kコーポ201	—	会員事業部

## 議事録

平成26年9月 理事会

◎日時：平成26年9月10日（水）  
19：10～21：05

◎場所：日本鍼灸会館2F会議室

◎出席者 15名

◇理事・監事 13名

（会 長）高田常雄

（副会長）伊集院克、岩元健朗

（理 事）佐藤直史、天野寛敏、一ノ瀬宏、  
芝田武司、松浦正人、樋口陽一、  
森野一巳、藤井伸康

（監 事）仲田欣司、浦山久昌

◇理事代行 1名 小林潤一郎（健保委員長）

◇事務局 1名 山中利道

◎議長挨拶 高田常雄会長

### 【案件】

◎審議案件

1. 入会等審査

◇佐藤理事より入退会等について説明があり、承認された。

【9月】入会1名、新卒会員入会1名、  
退会3名、変更1名

【8月】入会1名、新卒会員入会1名、  
退会2名、変更1名

2. 前期支部長会の開催

◇岩元副会長より9月24日午後7時から支部長会の開催次第について説明があり、了承された。

3. 「ふくし健康まつり」（豊島区）への参加

◇高田議長（会長）より12月7日に例年のとおり豊島区民センターや豊島公会堂周辺で行われる「ふくし健康まつり」への参加について説明があり、了承された。

4. 介護予防事業の拡充

◇松浦理事より「綾瀬筋力アップ教室」を新規に実施すること、また「元気でイキイキ教室」の定員拡大について提案があった。

○天野理事：教室参加者に対するアンケートの質問

で「過去一ヶ月間に体を使う日常活動をすることが～妨げられましたか」というよう「過去一ヶ月間元気過ぎてせましたか」というような分かりやすい表現にしたらどうか。

○松浦理事：この質問は「SF-8」という全国的に使用されているアンケート調査手法で健康関連の評価尺度となっており、豊島区からこれを使ってくれと言われている。

○浦山監事：参加費が入ってくるから自由にやっていいということにはならない。この事業に関してはお金の出入りは本部会計で処理することになるので予算が必要なので、提案するときには予算措置も考えてもらいたい。

○一ノ瀬理事：活動費に関しては統一的な処理をする必要があるので、年末の予算会議までには整理していきたい。

◇議長より補正予算の措置が必要であることから、松浦理事、一ノ瀬理事及び事務局の三者で詰めるよう指示があり、その結果を改めて理事会（メール）に諮ることとなった。

5. 会員向けアンケート調査の実施

◇天野理事より説明があり、質問項目の一部文言修正のうえ支部長会に諮ることです了承された。

6. 東京都赤十字大会の開催

◇平成26年10月15日に行われる赤十字大会への参加は保留となった。

7. 「鍼供養」の開催

◇相馬名誉会長に出席依頼することです了承された。

8. 鍼灸トレーナーの育成計画

◇岩元副会長より説明があり、委員会の立ち上げ、予算化を検討することとなった。

◎報告事項

1. 関東ブロック会議東京大会の実施報告（伊集院副会長）

2. 新入会員・新卒会員・学生会員交流会の実施報告（佐藤理事）

3. 代議員選挙管理委員会委員の委嘱（高田議長）  
森野一巳氏、南上 亮氏の2名

4. 東京都功労者表彰の内定（岩元副会長）

◇福祉・医療・衛生功労：被表彰者浦山久昌氏

5. 保険審査報告（小林健保委員長）

6. 各部報告

7. その他

◇東京都柔道整復師会→名称変更

◇東京都看護連盟→会長の交代

### 前期支部長会議事録

◎日時：平成26年9月24日（水）

19：00～20：40

◎場所：日本鍼灸会館2F会議室

◎出席者37名（重複あり）

◇支部長（代理）22名

足立：小宮秀樹、荒川：呉仁隆（代）、

江戸川：市橋尚子（代）、葛飾：小林潤一郎、墨田：

森野一巳、品川：細木信孝、

港：藺田康敬、目黒：神原康幸、

渋谷：南上亮、新宿：井坂卓司、

杉並：蔦田直人、中野：伊集院克、

板橋：折原瑛哲、北：倉田克俊、

豊島：武内潔、練馬：藤井伸康、

三多摩東：増田眞彦、三多摩西：内野孝明、三多摩

北：邊田幸藏、八王子日野：上杉勝、町田：榎本誠

一、武蔵野三鷹：黒河内和明

◇理事・監事 13名

（会 長）高田常雄

（副会長）伊集院克、岩元健朗

（理 事）佐藤直史、天野寛敏、一ノ瀬宏、

芝田武司、松浦正人、邊田幸藏、

樋口陽一、森野一巳、藤井伸康

（監 事）仲田欣司

◇理事代行1名 小林潤一郎

◇事務局 1名 山中利道

◎会長挨拶：高田会長

◎司会進行：松浦理事

### 【案件】

1. 平成27年度の事業計画・予算について

◇佐藤理事、一ノ瀬理事より「支部年間事業計画」

については11月21日（金）までに提出するよう

にとの依頼があった。

《質問等なし》

2. 「地域包括ケアシステムの構築」(地域ケア会議)

について

◇高田会長より厚労省の資料（図表）をもとに説明があり、各支部においては積極的に行政との関わりを持ち「地域ケア会議」に参画してほしい旨の要請があった。

○倉田支部長（北）：先週北区の「地域ケア会議」に出席してきたが、介護現場を知ることが大事であり、また医師には鍼灸の効用を知ってもらうことも重要なことだと感じた。まだ鍼灸師として何ができるかイメージが湧いてこないが、鍼灸師という業種をもっと理解してもらうために今後も積極的に関わっていきたい。

○増田支部長（三多摩東）：今年の6月に西東京市から依頼があって鍼灸師として登録している。地元の行政との関係は緊密であるので問題はないが、東鍼会全体として今後進めようとするならば、行政に対し「こういう件は言ってほしい」とか、「こういう項目は言わないでほしい」とかいうものを統一的に用意しておいたらいいのではないかと。

○高田会長：検討させてもらう。

○武内支部長（豊島）：今日、豊島区の高齢者福祉課に行ってきたが、9月30日に「地域包括ケア会議」というがあることを知ったので早速参加を申し出た。区によって温度差があるのは事実であるが、何事もこちらから働きかけないと進まない。

3. 介護予防事業の拡充について

○松浦理事：豊島区から委託を受けている「筋力アップ教室」は評判がよく、その教室を終わった方々がお金を払ってでも運動を続けたいということで、現在会費制の「元気でイキイキ教室」を30数名で行っている。こうした介護予防教室をもっと広げようということで、今度は足立区でも「綾瀬筋力アップ教室」をやろうということになった。特徴としては、足立区からの「後援」と、支部の先生方の協力を得て、運動だけではなく鍼灸の体験も取り入れようとしている。

○一ノ瀬理事：「綾瀬教室」は新規の取り組みなので、理事会の承認を経て補正予算を組むことになった。

○神原支部長（目黒）：綾瀬教室には鍼灸の体験というのがあるが、これについて保健所はどういう反応か。

○小宮支部長（足立）：パイオネックスと“せんねん灸”を予定しているが、保健所にはまだ話を通していない。

- 神原支部長（目黒）：目黒でも体験を行おうとして保健所に相談したが、鍼はパイオネックスを含めて止めてほしいと言われてしまった。
- 小宮支部長（足立）：足立では毎年スポーツカーニバルで鍼を打っているので問題はないと思っているが。
- 高田会長：区民まつりなどでは、区によって保健所に届を出しているところと出していないところがある。保健所に聞けば目黒のような答えとなるだろう。
- 増田支部長（三多摩東）：西東京市の市民まつりでは、市の健康推進課からの依頼により健康ブースで実際鍼を使っている。市に許可が必要か聞いたところ、市役所が責任を持つからいらぬとのことだった。要は主催者がどう考えているかというのが判断のポイントではないか。
- 武内支部長（豊島）：豊島区では毎年「ふくし健康まつり」に参加しているが、そのつど免許証の写しを提出して保健所の届出をしている。鍼をやるのであれば、保健所の許可を受け正々堂々とやったほうがよいのではないかと思う。
- 神原支部長（目黒）：目黒の場合、テントを張ってその中にベッドを置いてやるのだが、衛生上の問題を指摘される。
- 黒河内支部長（武蔵野三鷹）：武蔵野三鷹支部では敬老の日に無料の鍼灸治療をしている。一日しかやらないが武蔵野市民公会堂でやるので「武蔵野市民公会堂鍼灸院」という届出を出して、その日のうちに廃止届を出すということをやっている。問題なのは皮膚の中に進入させるという行為でも外でやるということなので、衛生問題はどうかと指摘されるので、許可を受けてやっている。また今はトラブルになった場合すぐ訴訟なので、安心してやるためにもちゃんと許可を受けたほうがよいと思う。
- 松浦理事：担当理事としては、どういう対応が適切かを確認したうえで進めたい。

#### 4. 会員アンケート調査の実施について

- ◇天野寛敏理事よりアンケート項目について説明し、実施したいとの提案があった。
  - 武内支部長（豊島）：4番目に「常用する『経穴』を教えてください」とあるが、常用穴では漠然としているのではないか。
  - 天野理事：最初「特効穴がありますか」という質問だったが、それだと何の特効穴か、ということになるので、「常用穴」のほうがいいという意見を入れて修正した。
- #### 5. 「スポーツ鍼灸トレーナー」の育成計画について
- ◇岩元副会長より、2020年東京オリンピックが決まったのを契機に、東鍼会として臨床鍼灸スポーツトレーナーを養成していくという提案があった。
  - 細木支部長（品川）：これが成功するよう品川支部としても協力したい。認定証と腕章に加え、自費で東鍼会公認の名刺をつくる権利も入れてもらえるとうれしいのだが。
  - 増田支部長（三多摩東）：登録料がなぜ必要なのか、また更新料が3,000円かかる理由は何か。それから受講料を別に取りするという必要性和医師と鍼灸師の講師料が大きく違うのはどうしてなのか。若い鍼灸師に会に入ってくれと誘っても、見返りが無いと言われてしまう。そういうことから東鍼会が予算化するべきで、名刺にしても費用は会が負担するべきである。また更新ごとに「中級」「上級」というステップを考えているということだが、年齢的に時間がない人もいるので別な方法を考えたらどうか。
  - 岩元副会長：登録料は腕章作成費や発送料の費用であり、更新料も同じである。また講師料の額については、新たな事業を始めるにはほかの事業費を削って予算化することになる。そのため、東京都からの委託講習会経費については委託予算を大幅に増やす要求をしていく予定なので、それが通れば受講料も無料とできるのではと考えている。
  - 井坂支部長（新宿）：この制度には賛成だが、研修内容が不十分ではないか。去年障害者スポーツ大会のグランドソフトを担当したが、視覚障害者の方は多くが同業者であったこともあり、非常にいい経験をした。その点から言うと、もっときめ細かな内容で魅力ある制度としていく必要があるのではないか。
  - 細木支部長（品川）：われわれは国家資格を持った者なので、これまでいろいろ勉強してきた。あとは現場に携わることが重要だ。対象は国体やオリンピックのスポーツ選手ではなく一般のスポーツを楽しむ方々なので、この内容で十分だと思う。専門にやろうとするなら自分で経験を積んでいくことが必要なので、会の取り組みとしては門戸を広げて若い人たちにも参加しやすいようにしておいたほうがよい。

- 増田支部長（三多摩東）：2つお願いがある。ひとつは鍼灸師の講師料を安く見ないでほしい。もう一つは、こういう取り組みの成果が鍼灸師に跳ね返ってくることを検証してほしい。つまり、われわれは「学会」ではなく「業団」なので鍼灸師の利益になるように中身を詰めてもらえればうれしいのだが。
- 岩元副会長：きめ細かな内容にするためにも現場を増やしていきたいので、各支部の協力を是非いただきたい。また間口を広げてというご意見をいただいたので、継続するような体制が取ればよいと思っている。鍼灸師の講師料については予算の制約がありご協力をいただくという前提なので、決して鍼灸師の評価を低く見ている訳ではない。また、鍼灸師への還元であるが、若い鍼灸師に関わってもらえるような手法としてこの制度を捉えていただければ幸いである。
- 倉田支部長（北）：どのようなレベルまでのことを想定しているのか。
- 岩元副会長：毎年卒業の鍼灸師を受け入れることを考えた場合、レベルを上げていくというよりは毎回基本的なことを繰り返しやることになるのではないかと考えている。さらに勉強したいということであれば、「アスレチックトレーナー」などの認定を取るといった段階に進むことが望ましいと考えている。
- 倉田支部長（北）：トレーナーという看板を掲げると、スポーツ選手が治療院に来てしまう恐れはないか。
- 細木支部長（品川）：スポーツ選手は看板を見ては来ないので心配いらない。
- 伊集院副会長：20年前だったか、「スポ研」というものに携わったことがあり、そこで運動メニューとかを研究できて役立った記憶がある。だから、例えばママさんバレーなどに鍼灸師がお手伝いできるのだということを知ってもらえるよう、ベースとなる研修内容でいいのではないかと考えている。仮にスポーツ選手が来たとしても、スポーツ選手が治療の中身を判断してくれるのでこちらが心配する必要はない。東鍼会では最低限の勉強はしていますよ、という認定でいいのではないかと考えている。

## 6. 「日鍼会全国大会in岐阜」について

- ◇岩元副会長より10月12・13日の2日間にわたって行われる全国大会の参加状況の報告と参加

のお願いがあった。

## 7. その他

### (1) 保健福祉事業部からのお願い

- 小林健保委員長：「お願いが2点。ひとつは療養費の取扱いに関する講習会を年2回行っているが、もっと小さな会場、例えば支部単位や旧ブロックなどで行ってほしいとの要望があった。そこで今年は予算化しているので、要請があれば応えたいのでよろしくお願ひしたい。それから、療養費の審査委員を募集しているので、支部長さんからみて適当な方がいたら推薦をお願いしたい。

### (2) 支部長手当の給付

- 一ノ瀬理事：厳しい予算状況の中ではあるが、今回一万円を支給させていただく。

### (3) 平成26年度東鍼会事業スケジュール（後期）

- 岩元副会長：支部の行事や間違いがあればご連絡いただきたい。

### (4) 支部役員名簿の配付、「交流会」実施報告

- 佐藤理事：変更のあった支部は事務局にお知らせいただきたい。それから、8月31日に「新入会員」「新卒会員」「学生会員」の交流会を行った。参加者は23名で、行政書士の講習会のあと、ワークショップという形で行った。それから、今は「ブロック」という言葉はなくなったが、地域ごとに廻っていくので支部長さんのご協力をお願いしたい。
- 高田会長：以前廻ったときに、様々なご意見をいただき、私達の気がつかないこととか多々あったので、出向いた際はよろしくお願ひしたい。それから政連の報告だが、来月2日に都議会の議員たちを介して東京都に5つの要望をする予定にしている。①東京都委託講習会の回数増、②ひとり親医療助成方式の簡略化、③国保連合会審査メンバーに鍼灸師の追加、④東京オリンピック・パラリンピックに向けた施術ボランティアの育成、⑤都包括ケアシステム委員会のメンバーに東鍼会を入れること

### (5) 東京都委託学術研修会のお知らせ

- 芝田理事：9月28日（日）に中期委託研修会があるので是非参加をお願いしたい。

## (6) 都民公開講座の準備状況

- 邊田理事：今年度の都民公開講座は三多摩地区で開催することになったのでご案内する。平成27年3月8日（日）、テーマは「21世紀の医療について」、一橋大学兼松講堂で開催予定。
- 増田支部長（三多摩東）：邊田先生と一緒に都民公開講座をやることになるが、この機会にぜひ学生を集めたい。東鍼会にお願いだが、学校協会と折衝していただき、学校の一つの行事として聴講するような制度になるよう要望したい。

## (7) 在宅鍼灸医療を推進する会について

- 松浦理事：資料の17ページの事業名の欄にある「在宅鍼灸医療福祉を調査する会」は以前の名称で、現在は「在宅鍼灸医療を推進する会」となっているので訂正させていただく。今年度3回目の会を10月26日に開催するので是非ご参加いただければありがたい。

◎閉会の挨拶：伊集院副会長

## 支部長・支部役員の先生方へ

平成27年1月号「一鍼たすけ」  
「東鍼会の普及・啓発活動」  
記事・写真掲載のご協力お願い

平成26年11月30日 必着

## 必要項目 写真（2～3枚）

- ①実施した年月日・会場名
- ②イベント名称・来場者数
- ③スタッフ数（外部鍼灸師含む）
- ④通算実施回数・感想など

アドレス [m-amano@agate.plala.or.jp](mailto:m-amano@agate.plala.or.jp)

広報担当理事 天野 寛敏あて

## 速報！ 全国大会in岐阜

平成26年10月12（日）～13（祝）

JR岐阜駅前：じゅうろくプラザ

第10回 公益社団法人日本鍼灸師会全国大会が開催されました。

県民公開講座 人体の小宇宙「病を脳科学で捉え考える」脳科学者：茂木健一郎氏 サブテーマ“創造する脳はぎこちなくて良い”。

そのほか、当会の高田会長・松浦理事をはじめとした介護予防運動指導員“スキルアップ講座”。烏海春樹氏“認知症の鍼灸治療”。そして鍼灸臨床研修会“一般口演”では田村憲彦氏・小林潤一郎氏の発表があり、座長としては小松秀人氏・三浦 洋氏・岩元健朗氏・有馬太郎氏・南上 亮氏・天崎正典氏が登壇しました。詳細は1月号に掲載いたします。



公益社団法人 日本鍼灸師会  
臨床学術大会・第10回



懇親会で岐阜県選出：野田聖子議員の挨拶があり「50歳で出産しましたが、色々な不妊治療のなかで鍼治療が一番でした。」とコメント。

次年は関東ブロック：神奈川県横浜市で開催予定です。

## 新入会員交流会

平成26年8月31日（日）13:00～16:00  
日本鍼灸会館2F講堂

会員事業部：佐藤理事の提案で「新入会員のためのワークショップ」が始まりました。  
以下、お知らせ致します。（広報部）



- ①「東京都鍼灸師会のこれから」  
（公社）東京都鍼灸師会 会長 高田 常雄



- ②「民間医療と医療類似行為の違いについて」  
行政書士 中山 典行氏  
（鍼灸師でもある）



- ③意見交換会



参加者全員で記念撮影

## 第49回東京都福祉保健局 委託講習会（中期）

平成26年9月28日（日）13:00～16:15  
日本鍼灸会館2F講堂にて開催しました。



- ①「生活習慣病と現代人の病気の関係」  
三楽病院附属生活習慣病クリニック  
名誉院長 医学博士 田上 幹樹 先生



- ②「健康と脂質（あぶら）の関係」  
—臨床に使える脂質の知識—  
東京衛生学園専門学校講師  
医学博士 鈴木 由紀子 先生  
研修事業部 芝田 武司



## 介護予防委員会

### 『筋力アップ教室』同窓会

豊島区より（公社）東京都鍼灸師会が受託している地域在住の高齢者を対象とした、地域支援事業『筋力アップ教室』の第7回同窓会が9月10日（水）10：00～11：30に日本鍼灸会館2階で行われました。

この同窓会は『筋力アップ教室』に参加され全過程を修了された方を対象にして（公社）東京都鍼灸師会が独自のプログラムとして年二回開催しているものです。現在までに教室修了者は138名いらっしゃいますが、今回はそのうち29名（男性7名、女性22名）が参加されました。筋力運動方法を再確認したい、教室が終わってから運動する機会が減り少し体力が落ちた、顔見知りとなった方にお会いすることを楽しみにしていたなどそれぞれに参加目的がありますが、皆様とても元気にご参加いただきました。

昔に比べて余暇時間が比較的増加し、日々さまざまなメディアから運動を主体とした健康づくりに関する情報もたらされているにもかかわらず、「運動をしない理由・できない原因」として、「運動する時間がない」、「どのくらい運動したら良いかわからない」、といったものであるという調査報告があります。

また、「運動が嫌い」といった心理的要因や、「一緒にやる友人がいない」、「運動する場所がない」などの社会的、環境要因も、運動しない理由・できない原因の上位にランクされているようです。このようなことを考えますと、通常の『筋力アップ教室』はもちろん、東京都鍼灸師会が筋力アップ教室修了者に提供している独自のプログラム（同窓会）は、運動する機会や場所の提供として、また地域在住高齢者の社会参加の場の提供として大変有意義なことであると思われます。

10月8日（水）からは26年度後期『筋力アップ教室』が14回のコースで開始されました。スタッフ一同（介護予防運動指導員）は参加者のニーズに対応して老年症候群（要介護状態になる要因）についての情報の提供や筋力アップ運動による筋力・バラ

ンスカ・歩行速度の向上、更に健康関連QOLの改善を目指す教室にしようとしています。興味・関心のある方はぜひ1度見学にいらしてください。教室の開催日程などは、事務局までお問い合わせください。

介護予防委員会 辻 潤一郎

### 鍼灸師の子育て支援 ～ココロほり教室のススメ～ 青年・女性部会研修会報告

平成26年8月10日（日）13：30～16：10  
東京都鍼灸師会館2階講堂にて行いました。講師は目黒支部の林真紀子先生と練馬支部の芝田武司先生にお願いしました。当日は悪天候にも関わらず、参加者31名中、鍼灸師23名（東鍼会会員14名）、学生8名と多勢の参加者の熱気に会場が包まれました。



前半第一部は林真紀子先生による講義で『ココロほり教室』を普及するために、まずは「子育て支援」の活動自体がこれからの鍼灸師になぜ必要かという話から始め、「ココロほり教室」を行うためには、どんな風に展開していったらよいか、実際に教室の始め方を学びました。



第二部の芝田武司先生の講義では、皮膚刺激についての理論を詳しく講義して下さりました。大脳皮質の刺激の反応と皮膚との関係を学びました。後半の実技では、実際の『ローラー鍼』で刺激する手技と、ココロほりです使うスプーンによる手技を学びました。参加者同士ペアを組んで手技を練習さ

せる辺りに、実際の現場での知恵が含まれていました。

参加者の感想を終了後のアンケートから抜粋させていただきます。

「実際に活動されているのが聞いて面白かったです。自分がこれからどういう風なことを考えながら学んでいくかという参考になりました。」

「大変わかりやすく有益な講義でした。子育て世代のママたちの状況がよく分かり、認識を新たにしました。今後の治療活動に取り入れていきたいと思えます。ますますのご活躍をお祈りします。孫の治療に役立て、ママたちの教育に役立てましょう。」

「中学生・高校生の登校拒否になった子どもをみてきて（家庭教師）本人のケア、そして母親のケアをしたいと思い、鍼灸あんま学校で勉強を始めました。子どものストレスと母親の関わりについて小さい時からの積み重ねも大きいと感じました。」

「大雨のため、途中からの参加になりましたが、先生の活動の一端を知ることが出来ました。子どもの頃から鍼に親しんでもらえる環境と、お母さんのサポートができ、安心して子育てしてもらえるアドバイス 一的役割を鍼灸師の我々が出来たら本当によいですね。応援しております。」

「地道な活動を長く続けていらっしゃる姿勢は素晴らしいと思います。これからもがんばってください。若い世代に鍼灸の良さを知ってもらいたいという考えには賛同します。今日はありがとうございました。」

「とても積極的な活動に刺激を受けました！女性ならではの視点も多く、勉強になります。これからも活躍いただいて、たくさんの方の力になってください私も少しでも自分の力を生かせるよう努力したいと思います。ありがとうございました。」

「わかりやすい内容で、良かったと思います。多方面で新境地を切り開いていかなければいけないと思っているので、先生のご活躍は他の鍼灸師にとって啓蒙になったと思います。今後もさらなるご活躍を期待しています。」

「春のスキンタッチの講座に参加して、子育て支援に興味をもちました。ココロは教室に見学に行

きたいです。大変役立つ内容の講座をありがとうございました。」

当日の私個人の感想としましては、何しろ女性鍼灸師の方々のパワーを物凄く感じましたね。やはり、時代は女性中心へと進んでいるようです。男性陣も頑張りましょう。

目黒支部 横山 季史

## エボラ熱、東アジアは対策強化を「全世界にリスク」と警告—WHO

世界保健機関（WHO）のチャン事務局長は10月13日、フィリピンで開催されたWHO西太平洋地域の年次会合で演説し、西アフリカで猛威を振るうエボラ出血熱が世界的なリスクとなりかねないとして、東アジア・太平洋諸国に対策強化を呼び掛けた。今回のエボラ熱の感染拡大は「極めて危険なウイルスが、いかにして保健インフラの弱点を突いて広がり得るかを示している」と指摘。流行を制御できなければ「全世界がリスクにさらされる」と警告した。

### 他の病気と似た症状

WHOによると、エボラ出血熱の初期症状は発熱や頭痛・腹痛・筋肉痛・喉の痛みなどで、マラリア、腸チフス、コレラなどを見分けにくい場合がある。

### 空気感染はしない

エボラ出血熱のウイルスは空中には浮遊しない。感染するのは、感染者の血液、汗、嘔吐（おうと）物、尿、唾液、精液などに触れた場合のみ。専門家によると、他人に感染するのは患者の具合が悪くなってからで、それまではたとえ症状が現れ始めても感染力は高くないとのこと。

### 潜伏期間は、およそ2日～21日間

疑わしい患者さんに直面した時は最寄りの保健所、または国立感染症研究所（新宿）までお問い合わせください。

# (公社) 東京都鍼灸師会が主催・共催する 講習会のお知らせ

平成 26 年 10 月 10 日現在

## 「日鍼会共催学術講習会」 会員・学生 3,000 円 一般 3,500 円

すでに 60 年、500 回以上も続く厚生省後援による講習会で、講師は医学部の教授・講師にお願いしてその分野での最新情報を、関連分野で活躍中の鍼灸師には「鍼灸師の立場からのノウハウ」をお話しいただきます。今後の予定は次の通りです。

### 第 3 回

日時：平成 26 年 11 月 23 日(日) 13:00~16:15

会場：日本鍼灸会館 2F 講堂

演題：(1)「糖尿病とフットケア」

東京都済生会中央病院 富田 益臣 先生

演題：(2)「糖尿病に対する鍼灸治療ーフットケアの立場からー」

東大病院 リハビリテーション部 鍼灸部門 粕谷 大智 先生

### 第 4 回

日時：平成 27 年 3 月 22 日(日) 13:00~16:15

会場：日本鍼灸会館 2F 講堂

演題(1)「慢性腎疾患と統合医療」

埼玉医科大学腎臓内科 教授 鈴木 洋通 先生

演題(2)「慢性腎疾患と鍼灸治療」

埼玉医科大学東洋医学センター 小俣 浩 先生

## 「東京都福祉保健局委託学術研修会」 無料(会員・学生・一般)

内容は、整形外科領域の疾患から内科、婦人科、眼科、耳鼻科、等幅広い分野からテーマを定め、専門家に講演していただきます。ここでは、最新の医学情報が学べます。また、鍼灸師による講演も生まれ、流派にとらわれず講師を依頼しているのが大きな特徴です。次回第 3 回(後期)は

日時：平成 27 年 2 月 1 日(日) 13:00~16:15

会場：日本鍼灸会館 2F 講堂

演題(1)「アレルギー・リウマチ疾患」

吉田内科クリニック 院長 吉田 章 先生

演題(2)「リウマチ疾患の鍼灸治療」

東大病院 リハビリテーション部 鍼灸部門 粕谷 大智 先生

## 「症例検討会」 参加費 500 円

患者の病態を私達のできる範囲で正しく把握します。そのことで鍼灸の適応を判断し、予後を推測します。治療の方法やその結果を1つの症例を報告書にまとめて発表し、その内容を検討します。最も臨床に直結しかつ効果的な学習方法です。

日時：8・12月を除く毎月第4木曜日 19:30～21:00

会場：日本鍼灸会館 2F 講堂

## 「保険取扱い疾患講習会」 参加費 500 円

対象者は資格を取得されて間もない方からベテランまでと広く、問診や診療法の実際や、カルテの書き方、近隣医師との良好な信頼関係の構築方法を丁寧にご指導致します。もちろん鍼灸学校の学生さんも大歓迎です。11月6日は、坐骨神経痛の診察法と実技供覧です。

日時：1月を除く毎月第1木曜日 19:30～21:00

会場：日本鍼灸会館 2F 講堂 および 4階会議室

## 「療養費取扱者講習会」 会員は無料

日時：平成26年12月6日（土） 19:00～（18:30開場）

会場：日本鍼灸会館 2F 講堂 および 4階会議室

演題「（医師の立場から見て）どうすれば同意書が貰いやすいか」（仮題）

一般社団法人日本統合医療支援センター 織田 聡 先生（医師）予定

会員の方が参加できない場合には、実務担当者の代理出席をお願い申し上げます。

〔ご注意〕会場は日本鍼灸師会館です。

東京都鍼灸師会の講習会・研修会の案内をメール配信希望の方は、東鍼会事務局まで（info@harikyu-tokyo.or.jp）、メールにて「氏名・住所・電話番号・メールアドレス・メール配信希望」と記入しお送りください。ご案内を配信いたします。

**GKカードをご持参ください**

このほかにも 1月～2月「スポーツボランティア研修」

3月「都民公開講座」三多摩地区：国立駅 一橋大学兼松講堂

「支部が主催する講習会」などがあります。

詳しくは会報でご確認ください。

今年度から事業費削減のため「会員向けハガキ」は最小限にとどめることになりました。どうぞ、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

研修事業部 伊集院 克

## 支部だより

### 目黒支部

#### 鍼とお灸266名に無料体験

平成26年7月26日(土)～27日(日)

10:00～16:30(9:00～17:30/～16:00)

第51回目のリバーサイドフェスティバル(目黒商工祭)に参加して13年、昨年と同じ中心部で通行者の多いプールサイド脇に展示ブースを設けることが出来ました。



今年も両日共、最高気温が35度の厳しい暑さの中で開催でした。2日目は14:00に大雨洪水警報が出て14:30頃にお客様が帰宅を急ぎ会場が閑散になり、15:00にゲリラ豪雨となり30分間はテント下で身動き出来ずに過ごし、終了時間間近でもありそのまま撤収したため、今年が一番お客様が多い時間帯に接客ができなかったのはとても残念でした。



それでも今年も例年同様多くの方に鍼灸効果に感動していただきました。また、今回はリバーサイドフェスティバルのイベントとして「職業体験」があり、参加団体に対して募集があったため、当会も「鍼灸師体験」を行うブースとして登録しました。お子様に白衣を着ていただき、保護者の方に小児はりをしたり、小学生にはお灸を親御さんにしてもらいました。親子共に、さらに一歩踏み込んで鍼灸に親しん

でいただけ好評でした。来年も出来そうだと思います。

また今年、特筆すべきことは、初めて鍼灸師や鍼灸学生以外の方にお手伝いをお願いしたことです。昨年度、目黒区鍼灸師会は、教育委員会主催講座として「40歳からの東洋医学とツボ」連続6回講座を運営し、区民30名が受講しました(講師は会員鍼灸師6名が担当)。その終了者13名が今後も学びを深めるために「東洋医学とツボの会」を立ち上げ、目黒区鍼灸師会から現在も毎月の勉強会の講師を派遣しています。

約1年間の講座で、東洋医学の智慧やお灸と鍼の効果を実感し、本当にいいもので、もっと広めたいと願う区民の方々と交流ができたため、今回のお手伝いをお願いし6名が当日、呼び込みやお灸の説明をしてくれました。

その内の1名は、昨年のリバーサイドフェスティバルで、「鍼灸なんて全く信じていなかった」けれど、無料だしと呼び込みにつられてふらっと立ち寄ってみた鍼灸体験で、あまりの効果にびっくりし、手渡された「東洋医学とツボ」講座に申し込み、6回講座を皆勤し、すっかり鍼灸ファンになられた方です。1年前には想像もつかなかったご自身の変化だとおっしゃり、今年はスタッフとしてお手伝いくださいました。鍼灸師でなくても、東洋医学の良さを広めてくださる協力者を得、目黒区鍼灸師会は、今後さらに活発に活動の幅を広げることが出来そうです。

今年も『鍼灸の効果を確実にわかっていただく』ことをテーマに、2日間で鍼(パイオネックス利用)とお灸を243名の方に体験していただきました。鍼体験の189名中61名は「効果がはっきりわかった」53名は「効果が少しわかった」と回答し、60%の114名が2箇所のお灸効果を認めました。灸体験の171名中74名は「はっきり」、37名が「少し」と回答し、65%の111名が2箇所のお灸効果を認めました。「気持ちいい」97名でした(鍼は23名)。

以下は回答者とアンケートのまとめです。

女性153名、男性85名。

年齢19歳以下 7名 20～39歳 69名

40～59歳 102名 60～79歳 59名

80歳以上 5名

有職155名 学生6名 無職44名

ストレスを感じますか？

若干感じる	126名
感じる	71名
感じない	41名

お困りの症状がありますか？（複数回答）

首肩こり	177票
腰の痛み	92票
関節の痛み	37票
便秘・頭痛	27票
その他	32票

その他では腱鞘炎、ヘルニア、月経痛、肘などでした。

鍼灸治療を受けたことがありますか？

ある95名のうち

—10回以上	26名	5回以上	18名
2回以下	43名	今も時々	8名

治療効果があった38名

とても効いた13名

しかし、効果がわからず22名は通院を止めたそうでこれは残念なことです。治療経験ない方のうち「痛そう」が21名と昨年の3分の1に減っていて「痛くない鍼」のアピールがじわじわと浸透しているのかもと思いました。「健康保険が使えるなら受けたい」18名と昨年同様で、地域性なのか保険治療がそれほど求められていないようです。

施術部位は肩井	118名
曲池	32名
合谷	30名
膝眼	9名
足三里	6名
崑崙	4名
その他	64名

季節柄、肩は施術しやすく効果がわかりやすいため、今回は基本穴を「肩井」としました。あらかじめ打ち合わせをし、スタッフの誰が行っても同じ対応が出来るようにし、スムーズにお客様に対応出来るようにしました。

日曜日の午後に「健康相談」とパンフレットに書いてあるのを見たから、目黒区鍼灸師会のブースに来

るためにわざわざリバーサイドフェスティバルに来たとおっしゃる70代のお客様がご自身の検査結果を持参され、身が引き締まる思いをしました。祭という医療の場でないところだからこそ、出来ることもあるのだと感じました。来年も会員一丸となり頑張ろうと思います。

目黒副支部長 林 真紀子

### 荒川支部

#### 「荒川区民はり・きゅう無料奉仕活動」

平成26年8月5日～9日

「荒川区民はり・きゅう無料奉仕活動」を行いましたのでご報告いたします。

初めて取り組みでしたので墨田区鍼灸師会、葛飾区鍼灸師会のアドバイスを貰いながら行いました。募集は、ほっとタウン（月間紙）、あらんてあ（ボランティア情報誌）7月号に掲載して貰い、結果6名の応募者を得て支部会員治療院にて施術を行いました、また来年も取り組んで行きたいと思っています。

荒川支部長 関口 知次

### 新宿支部

#### —平成26年度1泊解剖研修旅行—

本年も武道大学のスポーツ医学研究所での1泊研修を行いました。8月10日（日）～11日（月）の両日。参加者12名は2台のレンタしたワンボックスカーに分乗して台風の置き土産の横風の中を、一路宿舎である「勝浦かんぼの宿」を目指しました。露天風呂と海の幸そして宴会を楽しんで翌朝、宿舎の会議室にて河野先生の座学を受講いたしました。



内容は今回の目的である各機関の正常細胞とガン組織との相違です。午後より場所を武道大学スポーツ医学研究所に移動致しました。豊島支部の地元勝浦

で開業されている元吉正幸先生も合流して、顕微鏡下の正常細胞とがん細胞それぞれの組織像の違いを学びました。同時に臓器の標本を実際に手に取りながら研修いたしました。



午後4時半に武道大学を後にして東京へ、途中渋滞に巻き込まれ予定のペースが遅れてしまいレンタカーを返却したのはメ切時間の5分前！またしてもいつもぎりぎりの新宿支部でした。

新宿支部長 井坂 卓司

### 「第25回 日本選抜車椅子バスケットボール選手権大会」報告

9月20日、21日群馬県高崎市において、車椅子バスケット選抜選手権及び女子東日本リーグ戦が行われました。両日も新宿鍼灸師会でコンディショニングブースを設置できましたので報告致します。



選抜選手権は、当初からこの高崎で行われております。会場である高崎浜川体育館は市内から車で約20分ほど離れた静かな川沿いにあります。さすがに、25回ともなるとボランティア・会場のスタッフも慣れており、対応はスムーズでした。



また、今回から同時に女子リーグ戦も行われ、試合は1日目が10：00～19：00まで、

2日目が9：00～14：00まで

しかしながら、車椅子バスケットにおいてコンディショニングブースを設置するのも今回で5回目となると、選手にもなじみとなるのか、多くの選手の方々に利用していただけました。特に、試合後だけでなく、試合前のコンディショニングを依頼に来られた方もおり、有意義であったと感じました。施術は、マッサージ・鍼・テーピング・アイシングと多種に亘った要望があり、ブースの場所もメインアリーナとサブアリーナを結ぶ廊下に設置できたためか、両日共に約40名弱、計約80名弱と多くの方の利用がありました。



1日目の夜にJWBAの玉川敏彦副会長と栃木県車椅子バスケットボール連盟佐々木清美会長が私共の宿舎に見えられ、夕食を御一緒させて頂き楽しいひと時を過ごさせて頂きました。今年からJWBA主催の大会に私共の参加を快く承諾していただいているJWBA玉川副会長に改めて深謝いたします。

新宿支部（ボランティア担当役員）木村 茂

### 車椅子バスケットのコンディショニングボランティアに参加して

新宿区鍼灸師会は10月5日ひらつかアリーナにおいて日本車椅子バスケットボールの秋季大会のコンディショニングを担当いたしました。

これに参加された澤田のどか会員からレポートが届

いていますのでこれをご紹介します。昨年4月免許を取得し、今年5月に東鍼会新卒会員に入会。日本車椅子バスケットボールのコンディショニングスタッフとしての参加歴は5月の全国大会、8月の仁川世界選手権(韓国)、9月高崎の関東選抜、そして10月5日の秋季大会と5月以降全てのイベントです。



昨年、2020年の東京オリンピック・パラリンピックが決まり。スポーツの分野だけでなく。ボランティアや私達のような身体に携わる分野にも。世の中では関心が高まっているようですが。先輩の先生達のご縁で私は鍼灸あん摩マッサージのコンディショニングボランティアに参加させて頂きました。

選手達の身体は車椅子が身体の一部になっている様でも車いすを使う動作によって起こる疲労や怪我をされていました。学生の時に習った全ての知識を引き出してもイメージできない症状や施術法。

そんな中、私に一生懸命ありのままに教えてくれるのは先輩先生方だけでなく、選手の方々でした。私は大会を通して車椅子バスケットボールという競技を知る事ができました。選手の方、他のスタッフ、家族の方々はこの大会を通して“鍼灸・あん摩”を体験して頂いたコトに。本当の嬉しさと充実感を得ることができました。

先日、舛添知事が仁川アジア大会へ行かれた記事には「他山の石とせず…」とあり。私にとって今回の経験は次回、また先のパラリンピックに向けて繋がっていきたくらいと感じております。



(右から2人目) 新卒会員 澤田 のどか

## 練馬・新宿支部共催

### 安全講習会第1回開催

新宿支部さらに東鍼会の普及活動やボランティアの現場においては公益法人のため日鍼会会員、東鍼会会員、新宿区鍼灸師会会員、一般鍼灸師の混成チームで施術にあたります。

事前に手指の消毒に始まり医療グローブの装着、施術野の限定、施術者とアシスタントの連携、受付票の記入の仕方等々の講習を受けた上でさらに当日のシミュレーションの確認を繰り返します。

ところが現場では個性的な??施術を散見致します。「あくまで体験施術」ですと繰り返しお伝えしますが、いざ体験者を前に施術場面となりますと訴えに耳を傾け一生懸命になってしまいます。治療家としての性でしょうか、良心的な先生に多々ある印象です。

事故は絶対にあってはならないもの。安全の基準や同じ意識を共有する勉強会を始めたいと考え、まず藤井ボランティア担当理事に相談、ご賛同を得た上に練馬支部のご協力もいただき、練馬支部・新宿支部の共催という形でスタート致しました。



内容は安全意識の確認と1回目後半は区民祭りに多い「座位姿勢の実技」、2回目後半はスポーツボランティアでお馴染みの「ベッド姿勢の実技」です。共に実践的な内容と致しました。



第1回目9月23日(火)(祝)午後2時より大塚鍼灸会館2F、講師は古海博子先生でした。



両支部合わせて(一般資格者11名(教員養成科含む)、東鍼会会員8名、新宿区鍼灸師会会員11名、学生9名)39名です。

尚2回目は10月13日(月)(祝)午後5時同会場の予定

新宿支部長 井坂 卓司

### 三多摩ブロック研修会

平成26年9月7日、東京都鍼灸師会三多摩ブロック研修会において、鍼灸学会Tokyo会長、日本鍼灸理療専門学校講師の山田勝弘先生による講習が行われました。

山田先生は、澤田健、代田文誌両先生の師弟の流れを汲み、日産玉川病院・東洋医学研究センターにおいて、代田文彦先生の薫陶を受け、灸治法等を研鑽され、現在は次の世代への教育に熱心に取り組んでおられます。

講演：代田文誌先生は、「現代医学と鍼灸医学とは、その優秀さを争うべきではない。両者は相補うことによって、より高次の医学となり得るのである。」という高い次元に立って、鍼灸の真価発揚を志されました。

さらに、ご子息で医師の代田文彦先生は、「患者の体を丸ごと元の状態に戻し、健康に対する自信を回復させること」を目指されたのです。これぞ太極療法としての捉え方であり、とりわけ三焦に注目し、三焦は体温の発生源ではないか、焦とは熱源ではないか、と考え、灸による自然治癒力の向上を目指されました。それはとりもなおさず、患者が治療に参加する、ということが必須となるので、自宅施灸を強く促されたのです。

そして、この人体を傷つける行為をするからには、畏れる気持ち(謙虚さ)を忘れてはならない、と諭されました。「医療に携わる人間は、弱い立場の人たちのことを考えなくては行けないし、何かお手伝いできればと、常に考えています」と語っておられました。

文彦先生が、鍼灸師に望んだことは、「鍼灸の真の力を体得し、それを患者に適切・的確に提供できる鍼灸師」でした。治療する立場として、素晴らしい鍼灸を施術できる自覚と誇りを持つことの大切さを認識してほしいということでした。

文彦先生の太極療法の根源は、一言で言えば、身体をさぐれ、でした。それは体表に投影された体の歪みを是正すれば、重くて複雑に見える病態にも通用する機会が見えてくるのだ、ということで、型に捉われない治療、発想の転換を求めるものなのです。山田先生は、澤田流太極療法の考え方を基にした鍼灸臨床を実践されており、全人的対応型(患者の人生と共に歩む)すなわち患者の心身を治療することをモットーにされています。

実技：後天の気の生成として、脾胃の機能に注目→膏肓、胃の六つ灸など。

働きすぎ、悩み→肝虚→腎虚 腎に瀉なし 腎陰虚

- 1、先天の気虚証
  - 骨格などを参考にして体質を診る
- 2、後天の気虚証
  - 脾虚証 食養 不安への気付き
  - 基本的に有痕灸(透熱灸)を用いる。

太極的取穴とは、その患者にとってどの穴が適切かを考えて取穴すること。

当日は50名の会員が参加されました。

三多摩北支部 名越 礼子



## アナウンス

### 足立支部

「筋力アップ運動教室 無料体験会」実施！

日時：平成26年10月29日（水）13：30～  
会場：足立区勤労福祉会館1F  
（綾瀬プルミエレクリエーションホール）  
定員：20～30名

参加資格—転倒予防・筋力アップ運動に興味・関心があり、おおむね65歳以上で会場に来られる方（他区からでもOK 事務局まで）

### 台東支部「研修会」

平成26年11月8日（土）18：30～  
会場：銀座エトレ 3563-3078  
演題：「ほくろ・イボ取りの灸」  
経絡治療学会会長 岡田 明三 先生

研修会終了後の懇親会（会費6,000円）  
台東支部長 野呂 信全

### 品川区鍼灸師会26年度 学術研修会

子育て支援講座「コロコロはり実践講座」

日時：11月29日（土）19：00～  
演題：小児鍼の臨床実技  
「コロコロはり実践講座」  
講師：目黒区鍼灸師会副会長 林真紀子先生  
会場：中小企業センター2階 中講習室  
品川区西品川1-28-3 37/87-3041  
会費：品川区鍼灸師会会員  
目黒区鍼灸師会会員は無料  
その他 1000円 学生 500円

品川区鍼灸師会では、26年度学術事業として、子育て支援講座の開催を決定致しております。本年度第2段として、「小児鍼の臨床実技」として、実際に小児の臨床に携わっている、目黒区鍼灸師会の林真紀子先生に、講演と、実技をお願い致しました。

林先生は、これまでに、「子育て支援」活動と鍼灸の普及活動を積極的かつ、継続的に行っていて、小児鍼を基礎とした「コロコロはり」を実践しており、

その実技指導も行っている。  
今回は、是非その一端を、ご指導頂き、今後の活動や、日々の臨床に生かして行けたらと思い、下記の要項で、開催いたしますので、是非ご参加して頂きたく思っています。

申し込み先 電話・ハガキは  
142-0064品川区旗の台5-6-9鍼灸治療旗の台  
岡安 清 まで

メールでは  
[h\\_baian@hotmail.com](mailto:h_baian@hotmail.com) または  
[h-baian.1005@docomo.ne.jp](mailto:h-baian.1005@docomo.ne.jp)  
品川支部長 細木 信孝までお申込み下さい

### 新宿支部：これからの活動

- ④11月28日午後2時～新宿区鍼灸師会  
「千葉大医学部解剖実習見学」第6回目  
テーマ「膜器官」指導教員：河野俊彦先生  
受付詳細はHPにて
- ⑤マラソン関連研修会 第1回目  
12月下旬もしくは1月上旬  
受付詳細はHPにて
- ⑥第14回新宿シティーハーフマラソン  
平成27年1月25日（日）  
国立競技場取り壊しのためメイン会場未定  
受付詳細はHPにて

■受付・お問合せ（メール）  
[hari-info@shinjuku-hari.com](mailto:hari-info@shinjuku-hari.com)

■新宿区鍼灸師会 HP  
<http://shinjuku-hari.com/>  
新宿支部長 井坂 卓司



# 厚生部

7月9日 理事会報告にて

## お悔やみ

港支部 宮内 律氏 7月10日 夫君逝去 72歳  
 杉並支部 和田 照代氏 7月26日 母堂逝去 100歳  
 新宿支部 滝沢 照明氏 8月21日 本人逝去 68歳

## 【退会者のお知らせ】

足立	尾澤 正義 (HA会員)
江戸川	尾端 竹子 (A会員)
渋谷	森 秀夫 (A会員)
新宿	滝沢 照明 (A会員)
板橋	牧野 良幸 (A会員)
豊島	三好千賀子 (A会員)
三多摩北	中田 喜泰 (A会員)
三多摩北	松田 貢 (B会員)

## 都民公開講座 予告

### 21世紀の医療 日常における健康についての提言

日時：平成27年3月8日（日）  
 午後2時～3時30分  
 会場：一橋大学 兼松講堂  
 （中央線国立駅南口6分 国立市中2-1）  
 入場：無料

講師：医学博士 藤井 輝明先生  
 東京大学大学院 医学系客員研究員  
 元鳥取大学大学院 医学系研究科教授  
 日本健康医学会 学術評議員

主催 公益社団法人 東京都鍼灸師会  
 後援 国立大学法人 一橋大学

問合せ 平成27年「都民公開講座」担当理事  
 邊田 幸藏 携帯 080-2146-1889

## 会長日誌


- 8月2日 N  
「関東ブロック正副会長会議in東京」
- 3日 N「関東ブロック会議in東京」
- 6日 N日鍼会業務執行委員会
- 10日 第3回在宅鍼灸を推進するための会
- 19日 N「健康日本21健康寿命を延ばそう」
- 24日 N災害医療委員会、理事会
- 28日 東京都福祉保健局高齢社会対策部と協議
- 9月10日 正副会長会議、理事会
- 11日 武見敬三参議院議員勉強会  
（岩元副会長同行）
- 14日 N日本在宅医学会in盛岡事務局長と協議（松浦理事同行）
- 17日 地域ケア会議参加
- 18日 N厚生労働省老健局老人保健課  
第3回定期協議
- 19日 第4回在宅医療を推進するための会
- 23日 N第1回法改正対策準備室
- 24日 前期支部長会
- 25日 東京医療専門学校委員会
- 28日 N第2回法改正対策準備室
- 30日 東京都健康長寿医療センター研究所  
（松浦理事同行）  
新開省二先生、堀田晴美先生打合せ



**(公社) 東京都鍼灸師会協力会員**

<p><b>株式会社 カナケン</b></p> <p>〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘2-17-39 TEL:045-901-5471 URL: <a href="http://www.e-kenkou.jp">http://www.e-kenkou.jp</a> E-mail: <a href="mailto:info@kanaken.co.jp">info@kanaken.co.jp</a></p>	<p><b>株式会社 明 健 社</b></p> <p>〒181-0013 三鷹市下連雀7-6-36 TEL:0422-71-8801 URL: <a href="http://www.meikensha.com">http://www.meikensha.com</a> E-mail: <a href="mailto:1@meikensha.com">1@meikensha.com</a></p>
<p><b>(有) 前田豊吉商店</b></p> <p>〒167-0052 杉並区南荻窪1-22-15 TEL:03-3332-7634 URL: <a href="http://www.needlemaeda.com">http://www.needlemaeda.com</a> E-mail: <a href="mailto:harimaeda@pop01.odn.ne.jp">harimaeda@pop01.odn.ne.jp</a></p>	<p><b>セイリン株式会社 東京営業所</b></p> <p>〒103-0027 中央区日本橋3-7-10 タンペイ日本橋ビル3F TEL:03-3276-9390 URL: <a href="http://www.seirin.tv">http://www.seirin.tv</a></p>

協力会員募集中

発行者  公益社団法人 **東京都鍼灸師会** 会長 高田 常雄  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-44-14 日本鍼灸会館内  
電 話 03-3985-7501 FAX 03-3985-7526  
メールアドレス [info@harikyu-tokyo.or.jp](mailto:info@harikyu-tokyo.or.jp)  
《広報委員》天野 寛敏・増田 眞彦・原 珠枝・塙 敬茂 《学術監修》浦山 久昌